

特別企画：静岡県女性社長分析調査（2023年）

女性社長比率は 7.0%、全国第 41 位にとどまる

～ 業種細分類別では「美容業」が 38.1%でトップ ～

はじめに

いわゆる「女性管理職 30%目標」が 2013 年に政府から明確に打ち出され、今年で 10 年となる。当初は 2020 年が目標の期限だったものの“2020 年代の可能な限り早期”に修正されるなど、進捗は芳しくない。対策の一つとして、今年 6 月に打ち出された「女性版骨太の方針 2023」では、プライム上場企業に対して 2030 年までに女性役員比率を 30%以上にしよう求めている。このような目標設定や法整備などを含めて女性活躍に向けた施策が講じられ、これまで以上に女性リーダーを増やそうとする動きが強まっている。

そこで帝国データバンクが自社データベースをもとに、全国約 119 万社の事業会社を対象に女性が社長（代表）を務める国内企業の女性社長比率について調査を行ったところ、2023 年 10 月時点で 8.3%となり、前年の 8.2%を上回り過去最高を更新した。小幅な上昇にとどまり依然として 1 ケタ台が続き、統計として遡れる 1990 年（4.5%）から緩やかに上昇しているものの、低水準にとどまっている。

今回、帝国データバンク静岡支店では、全国約 119 万社のうち、静岡県内に本社を置く企業について分析した。

※集計対象は「株式会社」「有限会社」「合同会社」「合名会社」「合資会社」

調査結果（要旨）

1. 全国における女性社長比率は 8.3%。都道府県別では、「徳島県」が 12.0%で最も高く、「岐阜県」は 6.0%で最も低かった。「静岡県」は前年横ばいの全国第 41 位にとどまった
2. 静岡県内企業における女性社長比率は 7.0%、前年比 0.1 ポイント改善し、1990 年以降で過去最高を更新した
3. 業種別では「不動産」が 16.8%でトップ、次いで「サービス」が 11.2%で続く。細分類別では「美容業」が 38.1%でトップ。次いで、「化粧品小売業」が 37.9%、「知的障害者福祉事業」が 33.3%で続いた

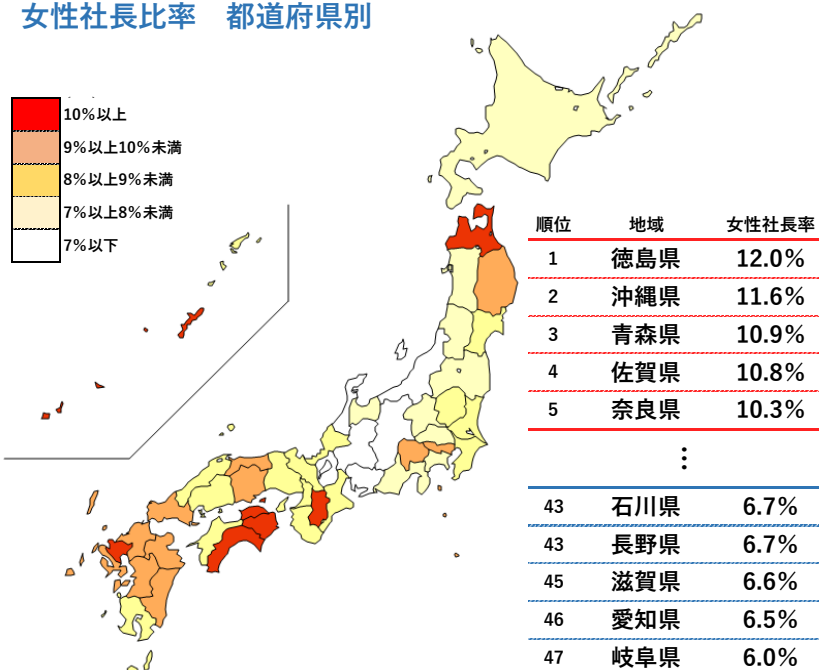
1. 都道府県別では「徳島県」が12.0%でトップ

都道府県別では「徳島県」が12.0%で最も高かった。前年から0.4pt上昇し2年連続のトップとなった。さまざまな捉え方ができるなかで、古くからの言い回しで“讃岐男に阿波女”という表現もあり、地域の特徴が表れているともいえるだろう。徳島県など四国地方をはじめ、西日本エリアを中心に女性社長比率が高い傾向が見られた。また、2013年以降は首位が続いていた「沖縄県」は11.6%（前年横ばい）となり、11年ぶりにトップから退いた。

なお、「静岡県」は7.0%となり、全国では前年横ばいの第41位と低水準にとどまった。

また、14年連続で最も低かった「岐阜県」(6.0%、同0.2pt上昇)を筆頭に、製造業が集積している中部地方では低調な結果が続いている。

女性社長比率 都道府県別

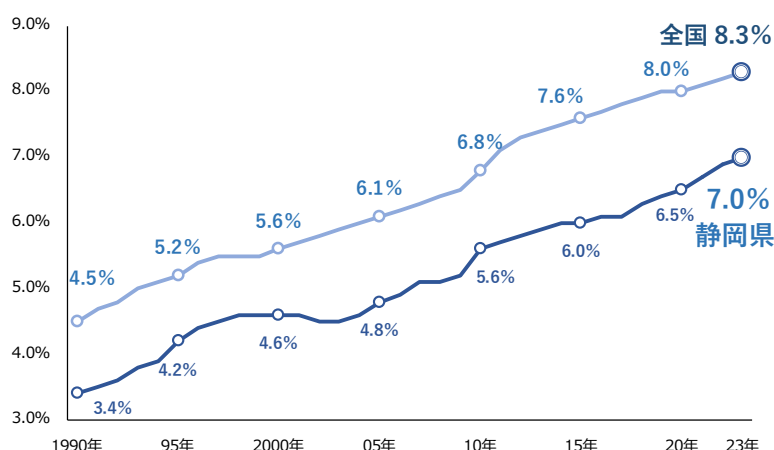


2. 女性社長比率は7.0%で前年比0.1ポイント上昇

静岡県の女性社長比率は、前年比0.1ポイント増の7.0%となり、前年から微増ながらも1990年以降で過去最高を更新し、2002年から2023年にかけて右肩上がりに上昇している。1990年と比較して30年間で倍増しているものの、女性社長比率は依然として1割を下回る低水準で推移している。

全国の女性社長比率も徐々に増加しており、静岡県は何れの年も全国を下回る水準にとどまっている。

女性社長比率 推移（1990-2022年）



3. 業種別では「不動産」がトップ、「サービス」「小売」などが上位

静岡県の女性社長比率を業種別にみると、「不動産」が前年比0.9ポイント増の16.8%で最も高く、1990年から8.8ポイント上昇し、34年連続でトップとなった。以下、「サービス」（11.2%）、「小売」（9.1%）と続き、B to C業種は女性社長比率が高い傾向がみられる。他方で、「建設」（3.4%）は最も低く、全体（7.0%）を大きく下回った。

業種細分類別では、「美容業」が38.1%で最多。次いで、「化粧品小売業」（37.9%）、「知的障害者福祉事業」（33.3%）、「菓子小売業」（32.0%）が3割台となり、引き続き美容や育児、介護など家庭や生活に密着した業種では女性社長比率が高い。

女性社長比率 業種別推移

業種別						(%)	(pt)	
	1990年 (33年前)	2000年 (23年前)	2010年 (13年前)	2015年 (8年前)	2020年 (3年前)	2023年 現在	対33年前 増減	対前年 増減
建設	2.0	2.7	3.2	3.1	3.2	3.4	+1.4	+0.2
製造	2.6	2.9	3.6	4.1	4.4	5.0	+2.4	+0.2
卸売	2.8	3.8	4.9	5.3	6.0	6.9	+4.1	+0.6
小売	5.3	7.0	8.1	8.8	8.8	9.1	+3.8	+0.1
運輸・通信	2.0	4.2	6.1	6.8	5.8	6.2	+4.2	+0.2
サービス	5.5	7.7	9.4	9.8	10.5	11.2	+5.7	+0.1
不動産	8.0	10.9	14.4	15.6	16.3	16.8	+8.8	+0.9
農林水産	1.5	3.2	4.6	4.9	6.7	6.8	+5.3	▲ 1.5
鉱業	3.6	6.5	4.8	7.9	9.4	6.3	+2.7	+0.2
金融・保険	1.8	12.9	5.2	9.4	9.1	7.4	+5.6	▲ 1.3

業種細分類別（上位20業種）

順位	業種名	2022年	2023年	昨年比	順位	業種名	2022年	2023年	昨年比
1	美容業	39.8	38.1	▲ 1.7	10	浄化槽清掃・保守点検業	22.2	23.6	+1.4
2	化粧品小売業	34.4	37.9	+3.5	12	貴金属製品小売業	20.8	22.7	+1.9
3	知的障害者福祉事業	35.5	33.3	▲ 2.2	12	果実卸売業	18.2	22.7	+4.5
4	菓子小売業	34.6	32.0	▲ 2.6	14	貸事務所業	21.8	21.2	▲ 0.6
5	婦人・子供服小売業	30.9	28.9	▲ 2.0	15	マッサージ等の施術所	21.2	20.4	▲ 0.8
6	土地賃貸業	22.4	25.9	+3.5	16	不動産管理業	20.7	19.9	▲ 0.8
7	呉服・服地小売業	24.6	25.7	+1.1	17	貸家業	21.5	19.8	▲ 1.7
8	洋品雑貨・小間物小売業	25.9	25.0	▲ 0.9	18	化粧品卸売業	18.9	19.5	+0.6
9	個人教授所	24.0	23.7	▲ 0.3	19	デザイン業	13.6	18.2	+4.6
10	老人福祉事業	24.1	23.6	▲ 0.5	19	旅行業代理店業	17.6	18.2	+0.6

今後の見通し

静岡県の女性社長比率は7.0%で、前年を上回り過去最高を更新したものの、依然として1割を下回る低水準にとどまった。なお、帝国データバンクが2023年7月に実施した「女性登用に関する静岡県内企業の意識調査(2023年)」では、女性管理職の平均割合は前年から0.6pt低下し8.7%となり、社長や管理職などを含めた女性リーダーの輩出は芳しいとは言い難い。

女性リーダーがこれまで以上に求められるようになった潮流は、海外ではさらに盛んである。欧州を中心にSDGsやESGの観点から重要視されており、女性活躍は企業の「見られ方」を大きく左右する時代となった。プライム上場企業では、先んじて女性役員比率の目標が設定されたが、このように大企業が先導役として女性活躍を推進する流れは、今後ますます強まるだろう。

一方で、比率の向上を目的にした起用には落とし穴も多い。例えば、ポジションを用意したにも関わらず適材適所な起用ができず、役職が務まらず失敗に終わることでその後の登用方針が消極的に転じてしまう事例も聞かれる。政府は女性起業家の育成・支援も推進する方針であるなかで、リーダーとして「適任者」を増加させていくためには、リスキリングなどによる技能向上と組織をマネジメントできるリーダーシップ教育の両面が欠かせない。加えて、ライフイベントとキャリアを両立できる柔軟な働き方を取り入れた制度面の整備・拡充も踏まえ、次世代を担う女性リーダー育成に向けて継続した支援が必要となる。

【 問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク 静岡支店 担当：竹岸 隆浩
TEL 054-254-8301 FAX 054-254-6602

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。